

2017 1・2月 合併号 No.395

JA
だより

みづま

三潴町農業協同組合

10月にご紹介した「農事組合法人なます」のロマネスコ、収穫真っ盛りです





三潁町農業協同組合
代表理事組合長 命婦 勝典

年頭のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様方には輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

さて、昨年のおが国の農業情勢を振り返りますと、JAグループが締結に断固反対していましたTPP（環太平洋連携協定）協定案は平成28年12月に国会で承認されました。しかし、アメリカのドナルド・トランプ新大統領は協定からの離脱を表明し、協定発効の見通しは不透明な状況となっており、今後とも注視していく必要があります。

また、JAグループで自己改革に取り組んでいる中、昨年も規制改革推進会議は全農の組織・事業改革やJAの信用事業譲渡等不当な干渉とも思える提言を発表しました。最終的には、政府が発表した「農林水産業・地域の活力創造プラン」では農業団体の意見が反映された内容になりましたが、今後も農業・JAへの風当たりが強くなると考えられます。

そのような中でも当JAは、組合員の農業所得向上に向けて昨年の通常総会で承認いただいた「JAみづま中期経営計画」を着実に実行してまいります。

最後になりますが、平成28年は天候不順や病虫害の発生により、たまねぎを始め、米・麦・大豆など管内の多くの農産物にとっては厳しい1年となりましたが、新しい年が皆様方にとって良い年となりますようお祈り申し上げて年頭のごあいさつとさせていただきます。

代表理事組合長 命婦 勝典

理事

喜田 龍一郎 横山 逸朗 川勝 博文

代表理事専務 田中 義信

田中 敏幸 大津 正治 池田 龍子

監事

金融共済担当常勤理事 野田 司

大津 俊博 田中 良勇 相川 憲雄



農業・農協改革に関する概要と JAグループ福岡の考え方

平成28年12月7日現在 (JA福岡中央会)

政府は11月29日、「農林水産業・地域の活力創造本部」を開き、生産資材価格の引き下げや農産物の有利販売に向けたJA全農改革、業界再編のための新法制定などを柱とした新たな農業改革となる「農業競争力強化プログラム」を反映した「農林水産業・地域の活力創造プラン」を改訂しました。

政府は、このプログラムやプランの中で、規制改革推進会議ワーキンググループが求めた全農の購買事業（生産資材の販売からの撤退、1年以内に新組織に転換し、関連部門をメーカーなどに譲渡・売却等）や販売事業（1年以内に委託販売を廃止し、全量を買取り販売に転換）、信用事業（信用事業を営むJAを3年以内に半減）に対する急進的な内容については、与党取りまとめに沿って一部修正されたものの、「全農に購買・販売事業改革に年次計画の策定を求め、与党と政府が改革の進捗管理を担う」ことを明記しました。

今回の動きは、JAグループが取り組んでいる「自己改革」を無視し、全農の組織解体に繋がる事業見直しを迫ったものであり、また、協同組合・JAに対する不当な介入・干渉と言わざるを得ず、到底納得できるものではありませんでした。

なお、今後もこうした協同組合原則を無視した官邸主導の急進的な改革を迫られる可能性は高く、改めて組織・事業への不当な干渉をさせない取り組みが重要です。

よって、我々JAグループ福岡は、引き続き自己改革及び農政運動を展開していきます。

11月29日「農業競争力強化プログラム」の概要（抜粋）

1. 全農の購買事業（資材の購買）の見直し

- 年次計画を立て、シンプルな体制を構築し、共同購入のメリットを最大化する少数精鋭組織に転換
- 取り扱う資材点数の絞り込み、競争入札の積極導入
- 資材の価格と諸経費を区別して請求
- 購買事業の人材を販売事業の強化に充当

2. 全農の販売事業（農産物販売）の見直し

- 実需者・消費者への直接販売を基本とし、年次計画を立て、安定的な取引先を確保し、買取り販売へ転換
- 農産物の輸出に関して年次計画を立て、主要輸出先国について販売体制を整備

3. 全農の組織・ガバナンス等の見直し

- 年次計画は自己改革が農協改革集中期間で成果を挙げるように策定
- 年次計画とそこに含まれる数値目標を公表
- 与党・政府が年次計画の進捗状況を定期的にフォローアップする

4. 指定生乳生産者団体制度改革（牛乳・乳製品の生産・流通等の改革）

- 指定団体を通さない生乳にも加工原料乳生産者補給金を交付（年間販売計画・実績の国への報告を条件）
- 部分委託に関しては、現場の生産者が不公平感を感じないよう、場当たりの利用を認めない

ロマネスコ初の収穫は上々

JA管内では、1月に入りロマネスコの収穫が始まりました。

今回は10月号でロマネスコの作付けを紹介した農事組合法人なまずの収穫作業にお邪魔してきました。

平成26年10月に設立した農事組合法人なまずは、構成員26名でたまねぎ・米・麦・大豆を栽培、28年には新規作物として、ロマネスコ約18アールの作付けも始めました。

代表理事の藤吉繁信さんは「JAから勧められて初めてロマネスコの作付けを行った。ロマネスコは霜に注意しなければならないが、機械の導入やハウス等の初期投資が他の作物より少ないため、取りかかりやすく病気等も少ないので、作付けがしやすかった。今後もJAの指導を受けながら、自信を持って消費者に届けられる商品を生産していきたい」と話されていました。

JAでは27年より本格的にロマネスコの出荷を開始し、現在生産者戸数7戸、面積約60アールの生産が行われています。営農指導の中園係長は「品質が良く市場からも好評を得ている。今後も高品質の物を消費者に届けられるよう指導を行っていく。また、ロマネスコはまだ知名度が低いため、PRを行い、三潨町の新たな特産品として販路拡大に繋げていきたい。」と意気込みを話しました。



みづまの輝く農人

高品質な物をより多く消費者に

株式会社もりもりファームでは、レタスの収穫とたまねぎの定植の真っ最中。そこで、代表取締役である時里盛義さん取材させていただきました。

○レタス

現在、約50アールでレタスを栽培しております。時里さんは「今年は長期間安定して収穫が出来るように時期をずらして定植を行い、収穫できる期間を延ばした。多くの方々に美味しいレタスを届けられるよう今後も面積拡大に努めたい」と話されていました。



○たまねぎ

当初約10アールで生産されていましたが、面積拡大のため、支援団体を積極的に受け入れており、現在では、就労継続支援事業を行っているK'sファーム(久留米市)、八女テラス(八女市)、NPO法人かけはし(柳川市)の協力を得て約3ヘクタールまで拡大されました。時里さんは「支援団体の受け入れを行った結果、ここまで面積の拡大が出来た。今後も徐々に面積拡大を行い、三潆町がたまねぎ栽培を始めた頃のように面積の増大に繋がりたい」と話されていました。



JA管内では、レタス生産者戸数19戸、面積約7ヘクタール、たまねぎは生産者戸数90戸、面積約16ヘクタールの作付けが行われており、JAでは高品質な商品を安定して消費者の方に届けられるよう今後も指導を行っていきます。



営農指導員の ワンポイントアドバイス



～たまねぎの防除について～

早生種・中晩生種ともに、4月までは病虫害防除を徹底してください。特に、春先に曇りの日が多い時は**ベト病**にかかりやすくなりますし、また、晴天が続き、高温・乾燥に見舞われると**スリップス**が発生することがあるので、天候の変動に注意します。なお、現時点で罹病株が発生した場合は、抜き取って圃場外へ持ち出してください。なお、中生種作付で2月末までに殺菌剤を散布する場合は**ジマンダイセン**水和剤(或いは**ダコニール1000**)を散布してください。

また、ベト病は生育期間を通して重点的に防除をお願いします。

	2月	3月	4月	5月
早生種 (七宝早生7号等)	・ 中旬…追肥(止肥)千代田化成(またはNK7号)を10aあたり20kg施用する。 ・ 下旬…土入れ	・ 球肥大期の乾燥や湿害は収量に大きく影響するので、灌水または排水に努める。	・ 中旬以降収穫	
中生種 (ターザン等) 晩生種 (もみじ3号等)	・ 上旬・中旬にかけて降雨が少ない場合、 硝酸液肥料 を500～750倍で散布する。	・ 上旬…追肥(止肥)千代田化成550またはNK7号を10aあたり20kg施用する。 ・ 中下旬…土入れ 追肥の遅れはチツソが残り、貯蔵中の腐敗等品質低下につながる所以、 追肥は早めに施す。	・ 上旬…スリップス(ネギアザミウマ)が発生しやすいので、害虫防除をする。また、貯蔵性を高めるために カルスター を10aあたり20kg施用する。 ・ 中旬…貯蔵病害防止のために防除を徹底する ・ 下旬…球肥大期の乾燥や湿害は収量に大きく影響するので、灌水や排水に努める。	・ 下旬…貯蔵病害防止のために仕上げ防除を実施する。 ・ 下旬以降収穫

<注意点>

- ・ 3月上旬から重点的(7～10日置き)に防除をお願いします。
- ・ 中晩生種の貯蔵用の収穫が遅れると品質や貯蔵性が著しく低下するので圃場全体の70%倒伏を目安に収穫をお願いします。

詳しいお問い合わせは…

営農経済部 特産課 TEL:0942-64-2213まで



日曜朝市開催

日 時:2月19日(日)午前8時30分～午前11時30分

場 所:犬塚購買店

お問い合わせ:営農経済部 資材課

TEL:0942-64-4373

年金相談会開催

事前予約
承り中

日 時:2月19日(日)午前9時～午後4時

場 所:犬塚購買店2階

お問い合わせ:(事前)金融共済部 統括・融資グループ

TEL:0942-64-2212

(当日)営農経済部 資材課

TEL:0942-64-4373

同和問題を知っていますか

★全国水平社

- 被差別部落の人々が差別撤廃のために結成した団体。

全国水平社の創立大会は、1922(大正11)年3月3日に京都で開催され、全国から約3,000人が集まりました。このときに採択された水平社宣言は自身も被差別部落出身である西光万吉が起草したもので、水平社運動が人間の尊厳、自由・平等の理念に基づいていっさいの差別・抑圧と闘い、被差別部落の人々だけでなくすべての人間の差別からの解放を目指すことを宣言しました。



寒い日にいかが？

カブと桜エビのほっこり煮



材 料

- ・カブ 2～3個
- ・桜エビ 20グラム
- ・Aコープ白だし
- ・Aコープ料理酒 ・水 ・水溶き片栗粉

作り方

- ①カブは皮をむき、食べやすい大きさに切る。桜エビをフライパンなどで乾煎りする。
- ②乾煎りした桜エビを水でふやかす。
- ③カブに被るくらいの水を入れ、②と白だし・料理酒を加え、好みの味にして煮込む。
- ④カブが煮えたら水溶き片栗粉を回し入れてできあがり。

ポイント！

◎ダシに桜エビの香ばしさをだすために、焦げない程度に乾煎りしてください。



収穫祭と相談会 大盛況

JAみづまの里農産物直売所は11月20日、犬塚購買店で、日曜朝市で収穫祭を行いました。

会場には、毎月恒例の日曜朝市で大人気の鶏の唐揚げやみづまの光グループのおこわ、採れたての野菜等の販売が行われ、また、三潴町で生産しているお米ヒノヒカリの「もりもり米」、「西郷さんちの美味しいお米」等の試食もあり、多くの来場者で賑わいました。

また、当日は犬塚購買店2階で年金相談会・ローン相談会も開催し、多くの方が相談に訪れました。



正月用品の販売は押すな、押すなの大盛況

12月29日に本所駐車場広場で年末恒例の正月用品特売会を行いました。

特売会では、正月に欠かせない松竹梅やしめ縄、正月用折昆布等の他、朝市の新鮮野菜、鶏唐揚げ、みづまの光グループが作ったおこわ等の販売をしました。

訪れた来場者は、我先にと目的の商品に向かい、買い物かごからあふれんばかりの正月用品を購入されていました。



ハトムギ新商品 開発中

11月15日、本所コミュニティエリアでハトムギを使ったコーヒーの試飲会を行いました。

JAでは、ドレッシングに続く「ハトムギ商品」として、現在、久留米工業大学と「ハトムギコーヒー」の共同開発を行っております。本所を訪れたお客様に、「ハトムギの味がほのかにして美味しい」「初めての味」等、好評価を得ていました。

また、22日に福岡市の福岡国際会議場で開かれた『九州・山口こだわりの食』大商談会においても、福岡県小川知事をはじめ、業者や国内外から集ったバイヤーの方々もコーヒーを試飲、「おいしい」と好評でした。



大豆収穫開始

JAでは、11月16日より大豆「フクユタカ」の収穫時期を迎え、カントリーエレベーターで出発式を行いました。

出発式には、オペレーター10名が参加し、収穫する時の注意事項や、圃場を確認後、一斉に各圃場へ向いました。

JA管内の大豆生産面積は約250ヘクタールで、そのうちJAが約91ヘクタールを受託しており、収穫された大豆はカントリーエレベーターで乾燥・調整後に出荷されます。



自分たちで育てたおもちは絶品です ～みんなで楽しくもちつき大会～

12月20日、西牟田小学校5年生の児童は、保護者参加のもちつき大会が行われ、JAの青壮年部部員も指導者として参加しました。

もちつきに至るまで、児童たちがこれまで食農教育の一環として、箱苗作り・田植え・稲刈りを約1年かけて体験したものです。その集大成として、もち米を使って臼と杵でもちつきをし、更には親子間の絆を深めてもらうために毎年行われています。

初めてもちつきをした児童も多く「狙った所に杵で付くのが難しい」「つきたてのモチは温かくてもちもちして美味しかった」と親子で和気あいあいと話していました。



マイナンバー制度導入で規約変更 ～農業青色申告部会臨時総会～

JA農業青色申告部会は12月21日、本所2階農業振興対策室でマイナンバー制度の導入に伴う規約改正のための、臨時総会が行われました。

臨時総会では、部会員のマイナンバーを取り扱うために必要な「特定個人情報等取扱規程」を規約に追加する議案を事務局が説明、審議の結果、可決・承認されました。



これは訓練です ～「強盗」本番さながらに～

防犯意識の向上を目的に、久留米警察署生活安全課の協力を得て本所金融共済部で強盗事件を想定した模擬強盗訓練を実施しました。

JA職員と署員約20名が参加、署員2名が強盗に扮し、1人がカウンター内に入り、「早く金を出せ」と金融共済部の職員らにナイフを突きつけ、もう一人が「早く金を渡さないと(お客役職員の)指を切り落とすぞ」と脅しながら現金を奪い、職員を連れて逃亡しました。

緊迫した状況の中、職員は犯人の特徴や言葉遣い、逃走後の追跡に至るまでのいざというときの対応の再確認を行いました。

訓練後は同署警察署の講評が行われ、「人命を守ることが一番ですが、一つでも多くの情報を伝えることで犯人確保に繋がる」とアドバイスをいただきました。

JAはお客様とお客様の大切なご資産を守るよう、防犯対策の強化に努めます。



青色申告をはじめましょう

青色申告は、農業分野でも経営の把握に重要であり、税制上のメリットもあります。

新たに青色申告を始めるためには、個人の場合、平成29年3月15日までに最寄りの税務署に「青色申告承認申請書」を提出する必要があります。

なお、政府の農林水産業・地域の活力創造本部において、青色申告を行っている農業者を対象とした収入保険制度の導入が決定されました。

お問い合わせ：九州農政局福岡県拠点地方参事官室 TEL：092-281-8261

久留米税務署からのお知らせ 平成28年分の申告期限と納期期限について

○所得税及び復興特別所得税・贈与税・・・平成29年3月15日（水）

○個人事業者の消費税及び地方消費税・・・平成29年3月31日（金）

久留米税務署では、確定申告会場を2月16日（木）から開設します。

【受付時間】午前9時から午後4時

※土・日曜日及び祝日は休みです。

※申告相談の受付は、原則として午後4時までとじていますが、受付終了間際は大変混雑する場合がありますので、お早めにご来場ください。

※駐車場が大変混雑しますので、公共交通機関をご利用ください。

申告書等の作成は、ご自宅等から国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」をご利用ください。

お問い合わせ：久留米税務署 TEL：0942-32-4461

（自動音声によりご案内いたします）

市税の口座振替推進の協力について

久留米市では、市県民税（普通徴収）、軽自動車税、固定資産税の口座振替利用を推進しています。また、口座振替をご利用でない方は便利で簡単な口座振替をご利用ください。

お問い合わせ：久留米市税収納推進課

TEL：0942-30-9007



JR九州からのお願い

農耕用シートや防鳥テープ、ブルーシートの飛来物により新幹線の電線に引っかかり運行に支障をきたす事故が発生しておりますので、しっかりと固定する等飛散防止対策をお願いいたします。



電線に引っかかっているビニール等の異物を見つけたら、感電の恐れがありますので、触れずにJRへご連絡ください。

また、新幹線高架下に農業用の機械や資材等を置かれますと、新幹線保守用車両の通行の妨げになりますので、高架下には置かないよう、ご理解とご協力をお願いいたします。



お問い合わせ

【飛来物のお問い合わせ】 新幹線 TEL:092-624-3892

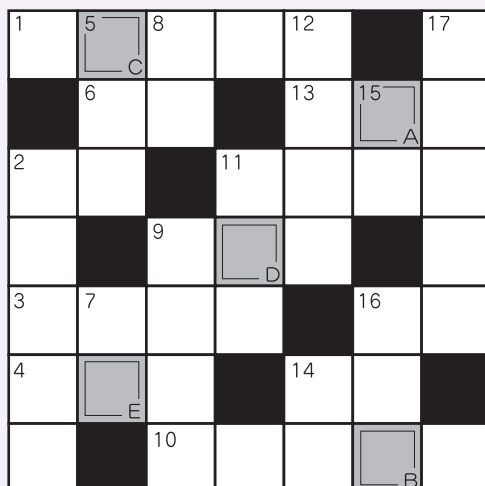
在来線 TEL:092-624-3836

【高架下のお問い合わせ】 熊本新幹線工務所 TEL:096-354-7800



パズル? 頭の体操

Q 二重マスの文字を A~E の順に並べてできる言葉は何でしょうか?



タテのカギ

- ② 首に掛けるアクセサリー
- ⑤ 髪はここを中心に渦巻きます
- ⑦ 釣り人がじっと眺める物
- ⑧ 安倍川にしますか、砂糖じょうゆで食べますか
- ⑨ 色が白っぽい——そばは、ソバの実の中心部分をひいた粉で作ります
- ⑪ 屋外で写生するときの机代わり
- ⑫ CDとも呼ばれるコンパクト——
- ⑭ 腕まくりするとき折る物
- ⑮ イチがバチカの大きな——に出た
- ⑯ 土を盛って造った古代の権力者の墓
- ⑰ ある限り全部の物

ヨコのカギ

- ① 新年に寺社へ出掛けて済ませます
- ② ドライバーで締める物
- ③ 解答用紙の——を文字で埋めた
- ④ 年表を見ると概要がつかみやすいかも
- ⑥ 騎手が馬に入れる物
- ⑨ サハラ、ゴビ、タクラマカンといえば
- ⑩ 受話器を離さずに延々と続けます
- ⑪ 自動車の燃料タンクが空っぽの状態
- ⑬ ——心頭に発する
- ⑭ 父や母の、父
- ⑯ 古い石碑に生えることもあります

Grateful Fes. '17

～日頃の感謝を込めて～

開催について

JAでは、皆様に日頃の感謝を込めて、2月5日(日)に本所でお客様感謝祭「Grateful Fes. '17」を開催します。

感謝祭では、三潁町の特産品の一つであるハトムギを使ったカレーや博多和牛バーガー、だご汁、コーヒーの他、地元野菜をふんだんに使ったちゃんぽんや手羽先の唐揚げ、みづまの光グループのおこわ・おでん、朝市の新鮮野菜、加工品等の販売をします。

また、フリーマーケットや子供も楽しめるダンボールめいろ、どうぶつえん、もちつき等も行います。

さらに、採れたて野菜やもち・大豆の無料配布も行います。

ステージでは、カラオケ大会(各集落から参加)やバンド演奏、ビンゴ大会等も行います。ぜひお越しください。

子供に大人気のくるっば、めし丸くん、ろくじかクンも参加します。

当日のスケジュール	
9時	開会式
9時30分～	カラオケ大会
12時15分～	バンド演奏
14時～	ビンゴ大会
14時30分～	バンド演奏
16時～	もち・大豆まき
17時	閉会式

※時間については変更する可能性があります。

※商品には限りがありますので早めに。 ※詳しくはHPにも掲載しております。

日 時:平成29年2月5日(日)午前9時～午後5時

場 所:JAみづま本所

お問い合わせ先:営農経済部資材課 TEL:0942-64-4373

ホームページ



編集後記



いよいよお客様感謝祭「Grateful Fes. '17」の開催が近づいてきました。役職員一丸となって皆様に楽しんでいただけるようなイベントを企画しておりますので、ぜひお誘い合わせのうえ、2月5日は本所へ。(安部)

パズル? 頭の体操 答え

1	ク	ツ	シ _B	タ		ソ	バ
2	チ	キ	ン		ア	ラ	レ _E
3	エ	ダ		イ	シ		ン
		シ ₈	ヨ ₁₁	ク _D	タ	ク	
4	マ		テ	ラ		ル	イ ₂₁
5	ト _A	ケ	イ		ミ	ブ	ン
6	イ	タ		イ ₁₄	ノ _C	シ	シ

12月号
の答え

「トシノクレ」